

# 地 域 経 済 動 向

平成 15 年 2 月 28 日

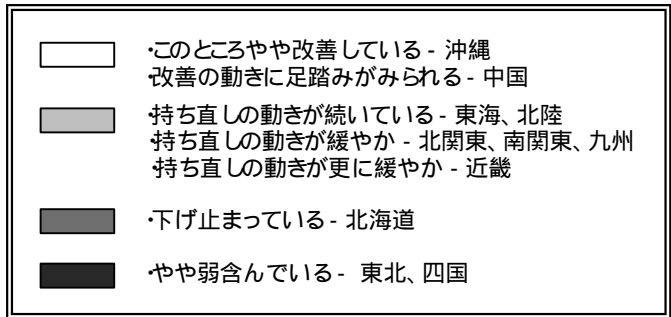
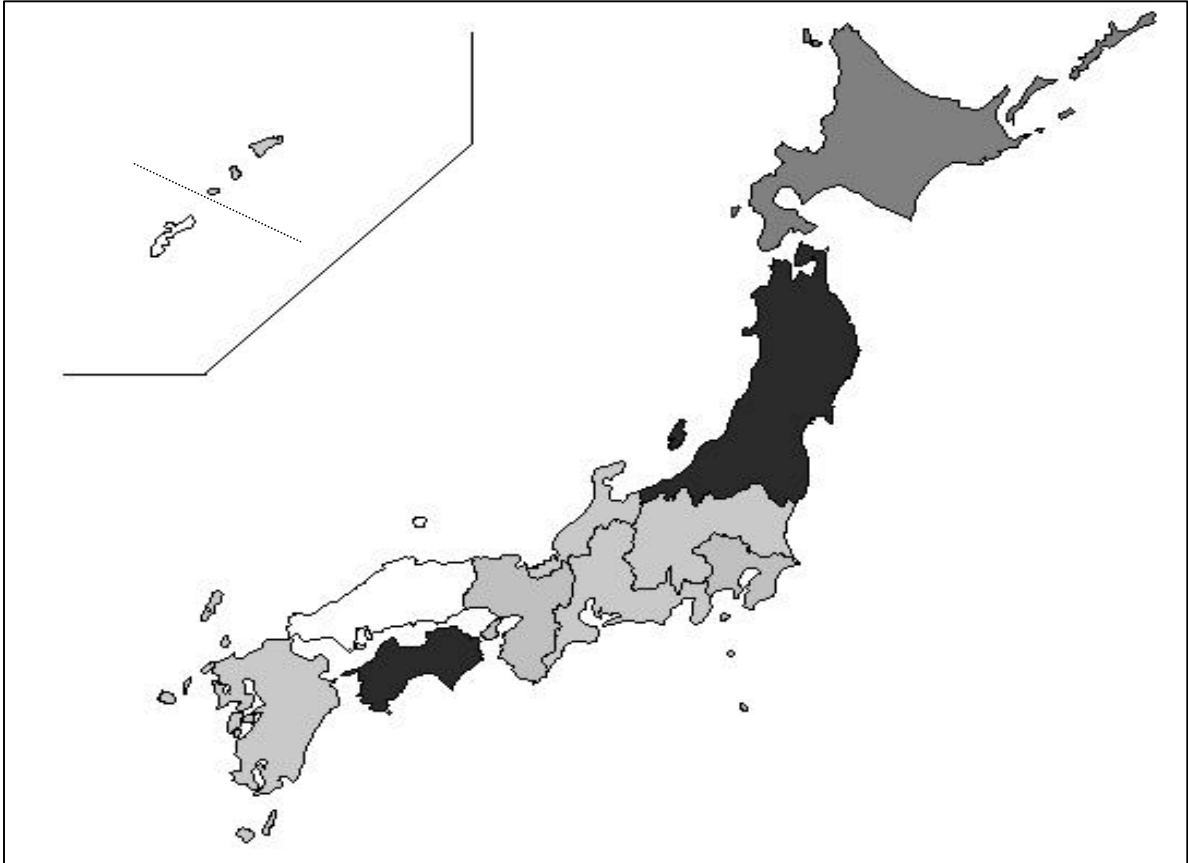
内 閣 府 政 策 統 括 官  
( 経 済 財 政 - 景 気 判 断 ・ 政 策 分 析 担 当 )

## 目 次

- 1 地域経済の概況
- 2 地域経済トピックス
- 3 地域経済の動向
- 4 地域景況インデックス
- 5 地域経済関連主要指標
- 6 地域区分等

# 1 地域経済の概況

## (1) 各地域の景況感



## (2) 前回調査(平成14年11月)からの比較

### 総括表現

各地域の表現	北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
緩やかな改善の動きが続いている/ このところやや改善している											
改善の動きに足踏みがみられる											
持ち直しの動きが続いている/ 持ち直しの動きがみられる											
持ち直しの動きが緩やか											
持ち直しの動きが更に緩やか											
下げ止まっている											
下げ止まりつつある											
やや弱含んでいる											

(備考) は、今回調査の判断。  
は、前回調査の判断。

## ～前回調査（平成14年11月）からの比較～

上方修正・・・2地域（北海道、沖縄）

下方修正・・・6地域（東北、北関東、近畿、中国、四国、九州）

各地域の景況判断は、北海道で雇用情勢を主な理由として、沖縄で観光を主な理由として、それぞれ上方修正となった。また北関東では個人消費を主な理由として、東北、近畿、中国、四国、九州では鉱工業生産を主な理由として、それぞれ下方修正となった。その他の3地域については前回調査と同じである。

### 今回調査の特色

#### このところやや改善している沖縄

沖縄：観光は増加しており、個人消費は持ち直しの動きが続いており、雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている。

#### 改善の動きに足踏みがみられる中国

中国：鉱工業生産はこのところ減少しており、個人消費はやや弱含んでおり、雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている。

#### 持ち直しの動きが続いている東海、北陸

東海：鉱工業生産は増加しており、個人消費はおおむね横ばいとなっており、雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている。

北陸：鉱工業生産は増加しており、個人消費はおおむね横ばいとなっており、雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

#### 持ち直しの動きが緩やかになっている北関東、南関東、九州

北関東：鉱工業生産はおおむね横ばいとなっており、個人消費はやや弱含んでおり、雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

南関東：鉱工業生産及び個人消費はおおむね横ばいとなっており、雇用情勢は依然として厳しい。

九州：鉱工業生産はこのところ減少しており、個人消費はおおむね横ばいとなっており、雇用情勢は依然として厳しい。

#### 持ち直しの動きが更に緩やかになっている近畿

近畿：鉱工業生産はおおむね横ばいとなっており、個人消費はやや弱含んでおり、雇用情勢は依然として厳しい。

#### 下げ止まっている北海道

北海道：鉱工業生産はおおむね横ばいとなっており、個人消費はやや弱含んでおり、雇用情勢は依然として厳しい。

#### やや弱含んでいる東北、四国

東北：鉱工業生産はおおむね横ばいとなっており、個人消費はやや弱含んでおり、雇用情勢は依然として厳しい。

四国：鉱工業生産は減少傾向であり、個人消費はおおむね横ばいとなっており、雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きもみられる。



## 地域経済動向における各地域の景況の推移

	13年 8月	11月	14年 2月	5月	8月	11月	15年 2月
北海道	大幅に悪化している	大幅に悪化している	悪化のテンポが緩やか	下げ止まりつつある	下げ止まりつつある	下げ止まりつつある	下げ止まっている
東北	大幅に悪化している	大幅に悪化している	大幅に悪化している	依然として厳しい状況にある	下げ止まりつつある	下げ止まりつつある	やや弱含んでいる
北関東	悪化している	一段と悪化している	一段と悪化している	下げ止まりつつある	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが続いている	持ち直しの動きが緩やか
南関東	悪化している	一段と悪化している	一段と悪化している	下げ止まっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが緩やか	持ち直しの動きが緩やか
東海	弱まっている	悪化している	一段と悪化している	下げ止まっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが続いている	持ち直しの動きが続いている
北陸	悪化している	一段と悪化している	一段と悪化している	依然として厳しい状況にある	下げ止まっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが続いている
近畿	悪化している	一段と悪化している	一段と悪化している	下げ止まりつつある	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが緩やか	持ち直しの動きが更に緩やか
中国	弱まっている	悪化している	悪化している	下げ止まっている	このところやや改善している	緩やかな改善の動きが続いている	改善の動きに足踏みがみられる
四国	大幅に悪化している	大幅に悪化している	悪化のテンポが緩やか	下げ止まりつつある	下げ止まりつつある	下げ止まりつつある	やや弱含んでいる
九州	悪化している	一段と悪化している	悪化している	下げ止まりつつある	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが続いている	持ち直しの動きが緩やか
沖縄	おおむね横ばい	弱まっている	悪化している	このところやや改善している	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが続いている	このところやや改善している

(備考)  は上方修正。  は下方修正。

<トピック1> 大都市圏で普及率が高いブロードバンド通信<sup>1</sup>

DSLによるブロードバンド加入者数は、この1年間で急激に伸び始め、2003年1月には累計で600万件を超えた(図1-1)。

2002年8月末の普及率を地域別にみると、大都市圏が高く、地方圏では低い。2002年3月から8月にかけての伸び率は、地方圏の方が高くなっている(図1-2)。

一方、2002年12月末におけるインフラの整備状況をサービスエリア人口カバー率でみると、大都市圏が地方圏より進んでいるものの、その格差は普及率と比べて小さくなっている(図1-3)。

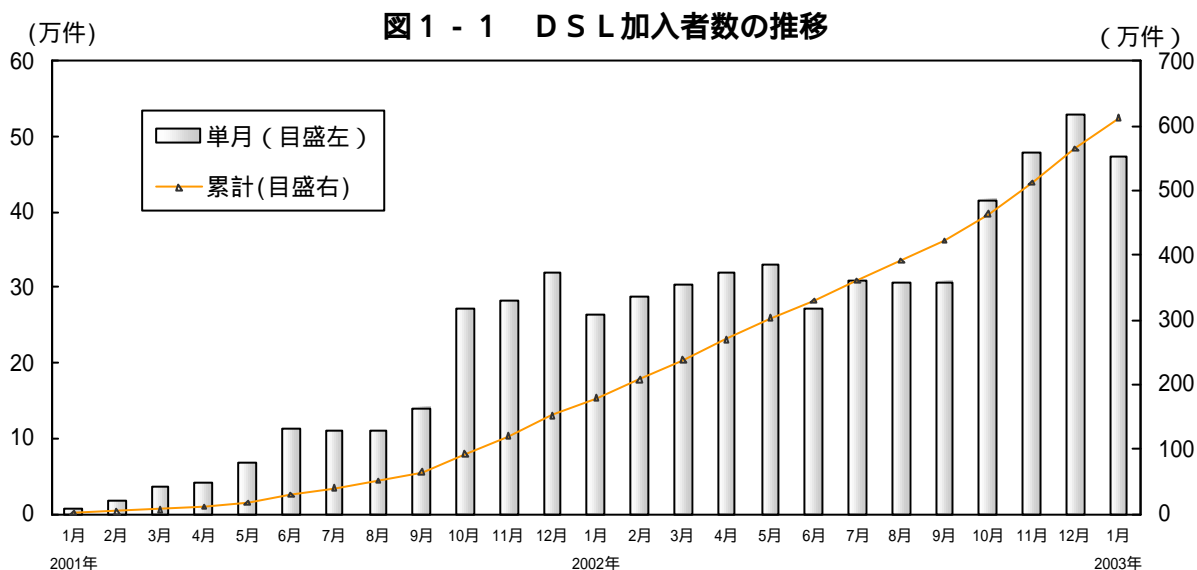


図1-2 DSL普及率と直近5か月の伸び率

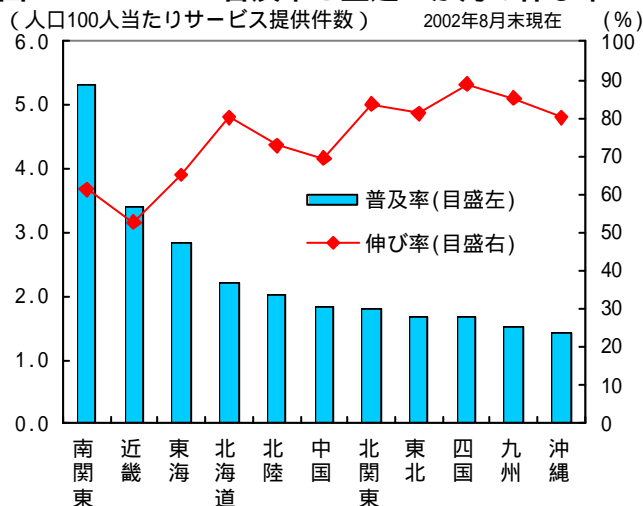
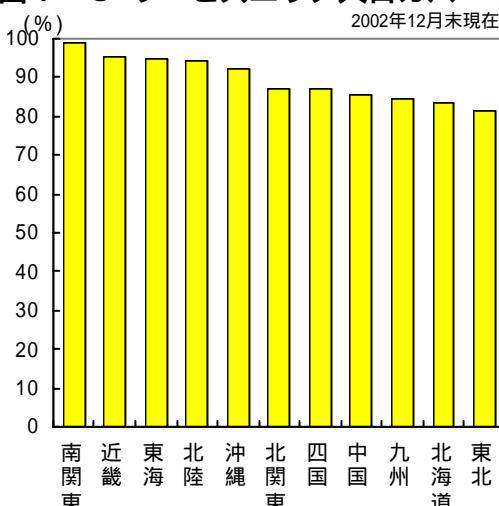


図1-3 サービスエリア人口カバー率



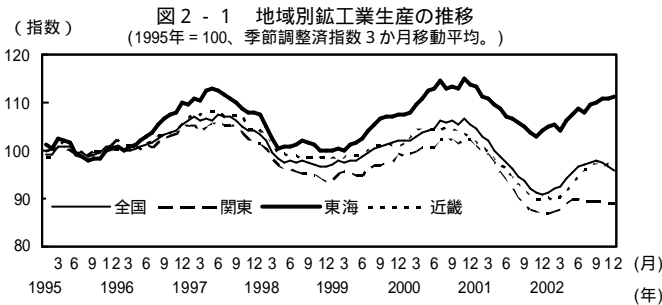
<sup>1</sup> (備考) 総務省「情報通信統計データベース」「平成12年国勢調査」「東・西NTTホームページ」により作成。ブロードバンド通信には、他に光ファイバーや無線などの方法があるが、ここでは最も代表的な事例として、従来の電話回線を利用した高速デジタル通信方式であるDSL(東西NTTの端末回線利用数)を取り上げた。また、図3はフレッツADSL1.5Mプランのサービスエリア(2002年12月末時点)市町村人口の合計を域内人口で除したものである。ただし、設備状況により同エリア内の全世帯で利用できるわけではないことに注意。

<トピック2> 東海地域の生産・雇用に好影響を与える輸送機械工業

鋳工業生産の推移を全国及び大都市圏<sup>1</sup>（関東、東海、近畿）についてみると、東海では1999年以降、全国や他地域と比べて高水準となっており、直近の増加率も比較的高くなっている（図2-1）。この要因として、東海の鋳工業全体の約3割のウェイトを占める輸送機械工業の寄与を挙げることができる（表2-2）。

次に、東海の鋳工業生産全体に対する輸送機械工業の寄与度についてみる。2001年後半から2002年前半にかけて鋳工業全体が大きく前年同月を下回るなか、輸送機械工業の寄与度は前年を上回る月もあるなど比較的堅調に推移し、足元でも全体の増加に大きく寄与していることが分かる（図2-3）。

また、輸送用機械器具製造業の有効求人人数も2002年を通じて増加傾向で推移し、輸送機械工業の生産動向が雇用面にも好影響を与えていることが分かる（図2-4）。



(備考) 1. 経済産業省、各経済産業局「鋳工業生産動向」により作成。  
2. 2002年12月は全国、東海及び近畿は確報値、関東は速報値（以下同様）。

表2-2 東海および全国の鋳工業生産の動向  
(季節調整済指数の前期(月)比。単位は%)

地域	業種分類	付加価値 ウェイト	2002年				
			1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	12月
東海	輸送機械工業	30.3	6.3	0.6	0.7	3.6	1.6
	(うち自動車総合)	28.2	7.5	1.8	0.5	2.0	1.9
	鋳工業	100.0	2.1	2.1	1.9	1.4	0.3
全国	輸送機械工業	11.7	3.4	4.1	4.6	1.4	3.3
	鋳工業	100.0	0.7	3.8	2.2	1.0	0.4

図2-3 鋳工業生産指数増減率に対する輸送機械工業の寄与度の推移(原指数の前年同月比増減率)

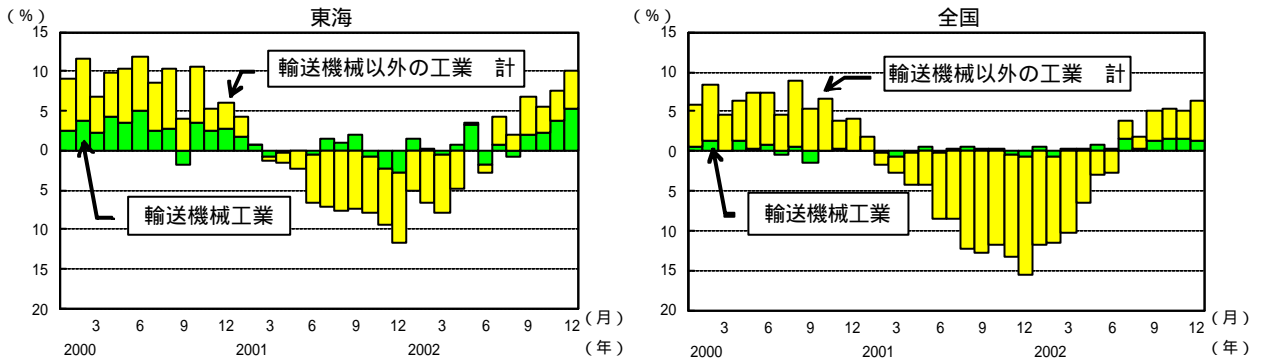
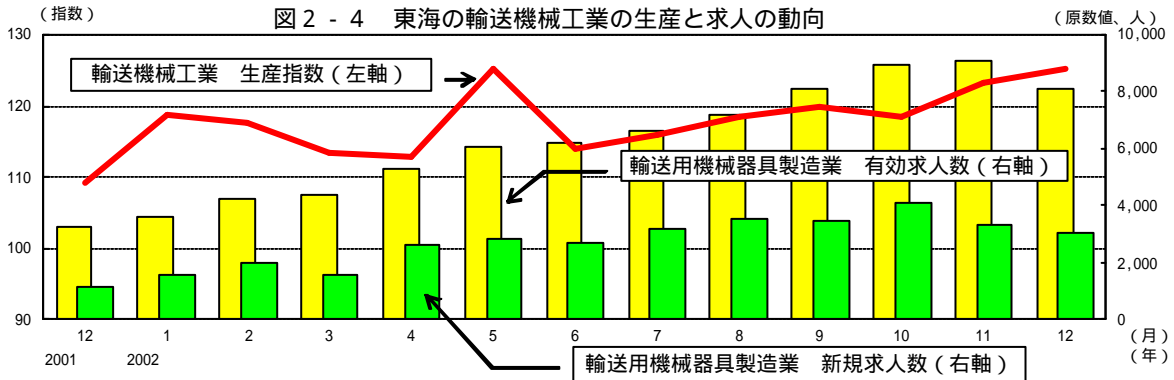


図2-4 東海の輸送機械工業の生産と求人動向



(備考) 1. 鋳工業生産指数は季節調整済。 2. 求人数のデータは厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。  
3. 有効、新規求人人数ともに常用計であり、新規学卒者、臨時および季節を除き常用パートを含む。 4. 東海は、岐阜、愛知、三重各労働局の合計値。

<sup>1</sup> 地域区分はB。